

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部改正に伴い、平成27年度及び28年度の介護保険料の減額賦課に係る第1号被保険者の保険料を3万1300円と定めるもの。

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)

介護保険法改正による低所得者の保険料軽減、市内小・中学校の東京都委託事業推進校の指定などに伴い、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6924万5千円を追加し、総額をそれぞれ228億1924万5千円とするもの。

歳入では、国庫負担金480万円は、介護保険法改正による低所得者の保険料軽減実施の国庫負担。都負担金240万円は、介護保険料軽減実施の都負担分。都補助金2859万8千円は、消費者行政推進交付金。委託金1744万7千円は、

①オリンピック・パラリンピック教育推進校事業委託金200万円

②小学校外国語活動アドバイザー活用事業委託金140万円

③安全教育推進校事業委託金20万円

④人権教育推進校事業委託金35万7千円

⑤学力ステップアップ推進地域指定事業委託金1199万円

⑥日本の伝統・文化理解教育推進事業委託金150万円の6件。

寄附100万円は、東京福生ライオンズクラブ、東京福生ライオンズクラブからの寄附金。諸収入1500万円は、コミュニティ助成事業助成金で、志茂第二町会の陸会館建設に伴う助成金。

歳出では、総務管理費36万円は、ライオンズクラブ、ライオネスクラブからの寄附金を活用し、市役所来庁者用車椅子を3台購入する。社会福祉費960万円は、介護保

険法改正による低所得者の保険料軽減分を国が2分の1、都が4分の1、市が4分の1公費で負担するもので、これを合わせ一般会計から介護保険特別会計へ繰り出すもの。商工費2859万8千円は、消費者被害防止についての啓発事業と、高齢者を対象に悪質商法などの被害を未然に防ぐための事業、計2409万8千円を消費者啓発事業委託料として計上。備品購入費450万円を計上し、警告メッセージつき自動通話録音機を高齢者に貸与する。教育総務費1704万7千円は、日本の伝統・文化理解教育推進委託料110万円、オリンピック・パラリンピック教育推進校事業費20万円、安全教育推進校事業費7千円、学力ステップアップ推進地域指定事業費1199万円。社会教育費64万円は、青少年育成地区委員長会主催の行事等で使うテント5張りを購入。予備費は、財源調整をするもの。

◎平成27年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入のみの補正で、介護保険料を減額し同額の繰入金を追加するもの。

補正額は0円であり、歳入歳出予算の総額は補正前と同額となる。

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

市議会議員として貢献された大野悦子氏が福生市表彰条例第3条第1項第2号に該当するため、自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づく一般表彰について

福生市表彰条例第4条第1号の該当者13名、同条第3号の該当者2名を表彰するもの。

第1号該当として、市議会議員として貢献された柳川英司氏、町会長等として貢献された野島康好氏、上野昌平氏、橋爪賢治氏、笹本誠一氏、清水誠二氏、榎本博人氏、井梅泰雄氏、国民健康保険運営協議会委員として貢献された石川好男氏、交通安全推進委員会委員として貢献された荒品祐次氏、大野裕氏、町会長、消防団員及び国民健康保険運営協議会委員として

貢献された石川恵一氏、消防団員として貢献された現在も活躍中の本山具達氏の各氏、また、第3号該当として、市道用地として土地を寄附された田村半十郎氏、絵画を寄附された栗原一郎氏の各氏を一般表彰する。

◎福生市教育委員会委員の任命について

平野裕子教育委員の任期満了に伴い、同氏を再任することに同意するもの。

討論

●集团的自衛権行使容認を柱とする安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

市民の関心を十分に尊重し、これにこたえる立場から、超党派で慎重審議を求めるとは、議会の総意として取り組むべき課題と考える。与党は国民の声に耳を傾けること、丁寧で慎重な議会運営、一方的な強行採決はしない約束などを求める意義は大きく、賛成する。

■賛成

憲法の範囲内で必要な法整備をするのは政府与党の責務である。法案は政府提案に対し、国会で議論がなされ、民主的に行われている。今回の法整備は、国民の生命と国家の安全を守るためのもので、平和国家の原則と法的安定性は全く揺らいでおらず、反対する。

■賛成

衆議院憲法審査会で三人の憲法学者が集团的自衛権行使は違憲と発言した。この上程され

れた法案を今国会で現状のまま成立させることは、国民の信頼を失うことにもなりかねず、審議を尽くす必要がある。住民の声を国家へ届ける責務を負う者として、賛成する。

■反対

法案に反対することあるいは審議引き延ばしを意図して提出された意見書であることは明白である。国際環境が厳しさを増す中、抑止力を高めるための法整備であり、中身をよく吟味せず最初から違憲と決めつけ、批判を繰り返すことに終始しており、反対する。

■賛成

自衛隊が敵基地を攻撃することが可能になり、後方支援を行うことは、攻撃対象にされやすいということにもなる。政府だけで憲法解釈だけを変えても、国民の意思が反映されていないものと考え、福生市議会として態度を明確にすることは必要で、賛成する。

■反対

本意見書については、慎重審議の結果否決されました。



▲福生市表彰式で表彰された方々

「議会誌」

▼4月	3日 東京都市議会議長会 監事会	2日 横田基地対策特別委員会
10日 議会運営委員会	9日 第2回定例会1日目 全員協議会	10日 議会運営委員会 第2回定例会2日目
15日 東京都市議会議長会 理事会・臨時総会	16日 建設環境委員会	11日 第2回定例会3日目 議会運営委員会
24日 例月出納検査	17日 市民厚生委員会	12日 第2回定例会4日目 議会運営委員会
▼5月	1日 代表者打合せ	18日 総務文教委員会
8日 初当選議員打合せ	19日 横田基地対策特別委員会	23日 議会運営委員会 総務文教委員会
12日 全議員打合せ	20日 初当選議員研修会 (21日まで)	24日 例月出納検査
15日 第1回臨時会(初議会)	22日 三多摩地区消防運営 全員協議会	26日 第2回定例会5日目 全員協議会
19日 定期監査	26日 東京都市議会議長会 理事会・定例総会	30日 初当選議員研修会
20日 財政援助団体等監査	27日 関東市議会議長会定 期総会	
22日 三多摩地区消防運営 協議会役員会・総会	29日 三多摩上下水及び道 路建設促進協議会理 事会・総会	

●陳情●

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。
○「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める陳情書 (不採択理由)
自衛隊が他国軍への軍事支援を行うことを可能とするような法案とは考えられず、意に沿いがたい。

